

2015 年 10 月吉日

お客様各位

CAESEKI.com 事務局
(カイセキドットコム)

「第 29 回 経営に貢献する CAE セミナー」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、CAESEKI.com におきましては、毎年恒例の掲記セミナーを下記のとおり開催いたします。
ご多忙の折、誠に恐縮ですが是非ご出席を賜りたくお願い申し上げます。

敬 具

— 記 —

1. 名 称 : 第 29 回 経営に貢献する CAE セミナー
2. 開催日時 : 2015 年 12 月 9 日(水) 13:00～19:30 (懇親会を含む)
3. 会 場 : 富士通関西システムラボラトリ 4 階 大会議室
4. 参 加 費 : 無料(懇親会を含む)
5. 申込方法 : 以下の URL よりお申込みください。
<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/3843>
6. 定 員 : 200 名
7. 趣 旨 :

製造業各社におかれましては、市場での生き残りを賭けて、製品の企画・開発プロセスのデジタル化が急速に進められています。その中でも CAE の活用は大きな役割を担っています。このような状況に対応して、CAESEKI.com 事務局（富士通グループ）では、お客様に CAE に関する有用な情報をご提供すると共に、業種横断的な情報交流の場をご提供することを目的として、セミナーを開催しております。

本セミナーでは、『経営に貢献する CAE』をテーマに、開発プロセスの革新とともに CAE の活用により経営に貢献されているお客様にお願いいたしまして、取り組み、効果、IT 技術への一層の期待などをご紹介頂く予定です。

8. CAESEKI.com について

CAESEKI.com は、富士通株式会社が主催し、デジタルプロセス株式会社、株式会社富士通システムズ・イースト、株式会社富士通九州システムズ、富士通アドバンステクノロジー株式会社が参加する日本最大級の解析シミュレーション・コンソーシアムの名称です。

セミナー連絡先:

株式会社富士通九州システムズ
エンジニアリングソリューション本部
テクニカルコンピューティングソリューション部
担当 坂本、縄田
電話番号: 092-852-3266
電子メールアドレス: seminar29@caeseeki.com
ホームページ URL: <http://www.CAESEKI.com/>

経営に貢献する CAE セミナー詳細

開催日時: 2015 年 12 月 9 日(水) 13:00~19:30 (懇親会を含む)

会 場: 富士通関西システムラボラトリ 4 階 大会議室

セミナー内容

12:00	受付開始	(司会:富士通株式会社 TC ソリューション事業本部 TC フロンティアセンター シニアマネージャ 大原 敏靖)
13:00 - 13:10	ご挨拶	株式会社富士通九州システムズ エンジニアリングソリューション本部 テクニカルコンピューティングソリューション部 部長 浜辺 智
13:10 - 14:00	事例講演 I	「CAE の活用による車両開発の効率化と価値創造」 日産自動車株式会社 統合 CAE・PLM 部 主管 松井 徹 様
14:05 - 14:55	事例講演 II	「自動車内装部品の CAE の取り組みについて」 河西工業株式会社 試作・実験部 第一課 マネージャー 小嶋 弘幸 様
14:55 - 15:25	休憩	(デモ・展示)
15:25 - 16:15	事例講演 III	「製品開発を支える CAE(実験力・解析力・評価力)と組織」 日立建機株式会社 実験解析評価センタ センタ長 田村 和久 様
16:20 - 17:10	事例講演 IV	「船体構造設計における CAE 適用の現状と今後」 国立大学法人 大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 船舶海洋工学部門 船舶構造強度学領域 教授 藤久保 昌彦 様
17:10 - 17:25	「CAESEKI.com 事務局からのお知らせ」	富士通株式会社 テクニカルコンピューティング・ソリューション事業本部 TC フロンティアセンター
17:45 - 19:30	懇親会	富士通関西システムラボラトリ 4 階 従業員食堂

注. プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご講演要旨

事例講演Ⅰ 「CAEの活用による車両開発の効率化と価値創造」 日産自動車株式会社 松井 徹 様

CAEの主たる得意は、①高精度モデルによる実験代替、②高速・大量データ処理による品質のロバスト化と最適化、③現象可視化や手法の組み合わせによる合理的な問題解決、にある。弊社では10年来、デジタル車両を用いた性能開発に取り組んでおり、それによる開発の効率化と具体事例について紹介する。また、CAEによる価値創造について、今後の重点技術領域とその展望を述べる。

事例講演Ⅱ 「自動車内装部品のCAEの取り組みについて」 河西工業株式会社 小嶋 弘幸 様

近年、デジタルフェーズでの試作レス化が増加。よって、試作品で性能を確認できないことで発生する設変の削減手段として、当社でもCAEが多く用いられるようになりました。また、CAEの導入時に対し、CAEに対する要求も大きく変化が見られます。本講演では、河西工業がCAEを導入した時から現在に至るまでの取り組みについてご紹介致します。

事例講演Ⅲ 「製品開発を支えるCAE(実験力・解析力・評価力)と組織」 日立建機株式会社 田村 和久 様

当社のCAE活用について過去の悪さ加減や問題点を振り返ると共に、これらを払拭すべく真に開発貢献するCAEを展開する為に取り組んできた内容(Step1:～2014)を技術・人材・組織面からご紹介する。

当センタのミッションは実験と解析(CAE)を開発サイクルに組み込み、事前保証力を向上、製品開発時の開発品質&効率を向上する事である。

事例講演Ⅳ 「船体構造設計におけるCAE適用の現状と今後」 国立大学法人 大阪大学大学院 藤久保 昌彦 様

船舶は、大型のものでは長さが400メートル程度に達する巨大構造体である。これが、積載重量、浮力、波の力などを受けて動揺し、変形しながら前進する。船舶の構造設計では、早くからCAEの必要が認識され、現在では構造規則もCAEを前提としたものとなってきた。また、波浪衝撃応答や終局限界評価をはじめとして、CAEの必要性は益々増大している。

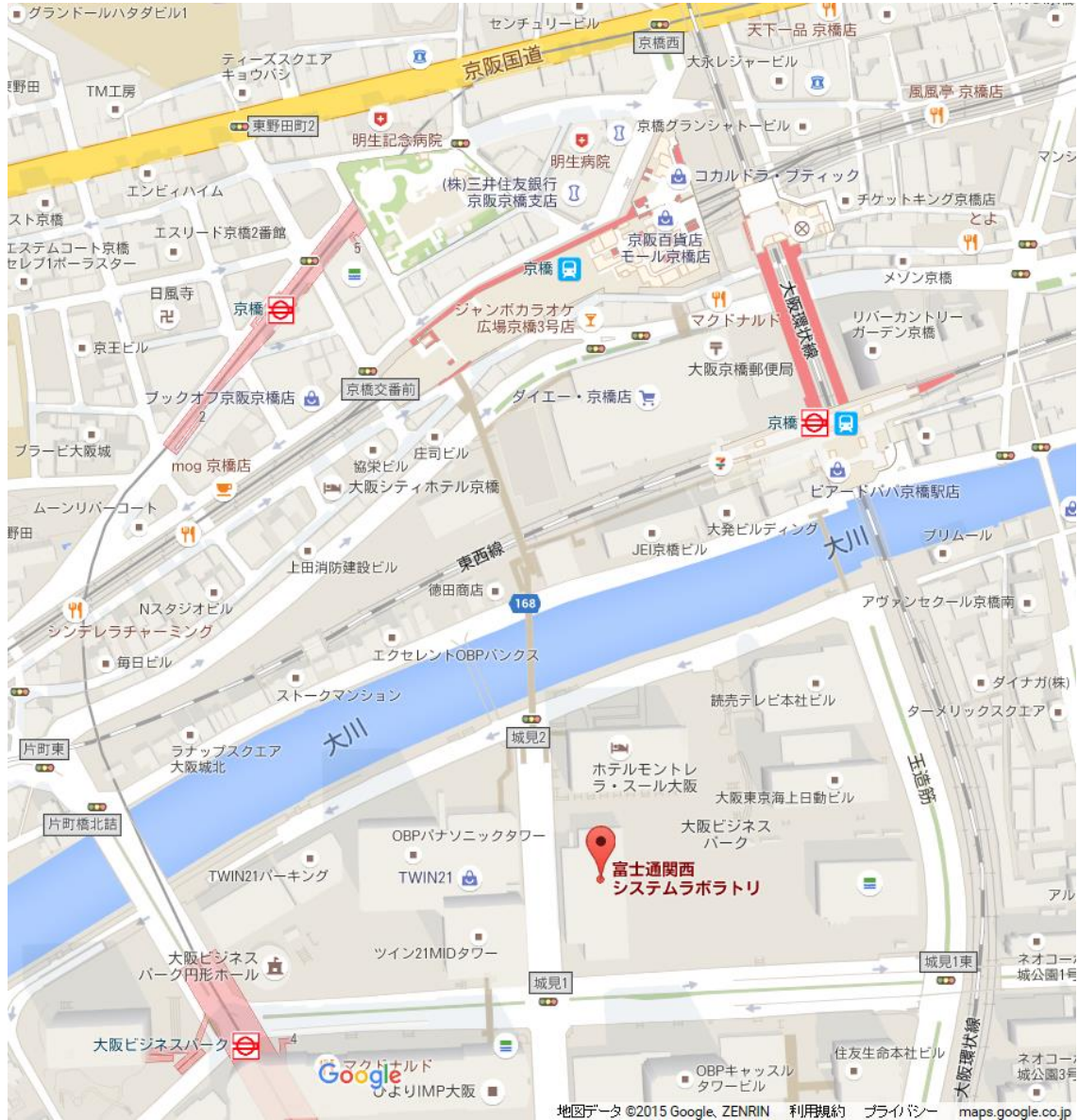
本講演では、船舶の構造設計におけるCAE適用の現状と今後について、見解を述べたい。

本セミナーは技術の研修を目的とするものではありません。あらかじめご了承の程よろしくお願いします。

富士通関西システムラボラトリのご案内

所在地: 〒540-8514 大阪府大阪市中央区城見 2-2-6

※ 詳しくは、<http://www.fujitsu.com/jp/about/corporate/facilities/kansai/index.html> をご参照願います。
ご来場の際は、最寄りの公共交通機関をご利用下さい。



- JR 大阪環状線／東西線 京橋駅(西口)より徒歩 6 分
- 京阪電鉄 京橋駅(片町口)より徒歩 6 分
- 地下鉄 長堀鶴見緑地線 大阪ビジネスパーク駅(4 番出口)より徒歩 5 分